

支部学術集会開催報告

第7回山口支部学術集会

会長：萩市市民病院院長 米澤文雄



会場風景

第7回山口支部学術集会
が、2008年11月1日(土)
にサンライフ萩で、テーマ
を「チーム学習の向上を
目指して」と掲げ、開催され
ました。

今回のプログラムは、一般演題(口演)9題、一般講演(ポスター)16題、シンポジウム、特別講演という内容で、熱気あふれる会となりました。多目的ホールで行われた一般演題(口演)では、発表者が研究・検証した栄養サポートチームの取り組みや嚥下・褥瘡への対応、地域連携医療などの内容を次々に発表し、シンポジウムでは「チーム医療の取り組み事例と今後の課題」というテーマで4題の事例発表のあと、討論が行われました。

引き続き行われた特別講演では、一橋大学大学院国際企業戦略研究科教授で日本ナレッジ・マネジメント学会専務理事の一條和生先生に、『知を結集するチームワーク』と題して、お話しいただきました。企業コンサルタントも手がけておられる一條先生の講演は、チーム医療をいかに推進していくのが課題となっている中で、「これほど明快なチームワーク理論は聴いたことがない」という感想が多く聞かれ、大好評でした。最後に次期会長の徳山中央病院林田重昭院長が挨拶され幕を閉じました。

萩市での開催は初めてですが、山口県内の医療機関及び関係者の協力を得て、200人を超える参加があり、無事終了することができました。皆様のご協力、ご支援に感謝申し上げます。(文責：萩市市民病院事務次長 石井 智)

第6回石川支部学術集会

世話人：公立松任石川中央病院院長 八木雅夫



会場風景

第6回日本医療マネジメント学会石川支部学術集会
が2008年11月9日(日)
に石川ハイテク交流センター
にて開催されました。

「医療連携の推進」を
メインテーマに一般演題
12題の発表と特別講演が

行われ、200名の参加がありました。

一般演題の内容は、業務改善活動・入退院調整と退院支援・地域連携クリティカルパス・高齢者総合評価・救急搬送時の留意事項・クリティカルパスのバリエーション分析・職員の安全管理・術前患者への関与と患者満足度の向上・外用薬剤の管理と多岐にわたり、発表後も活発な討論が交

わされ、医療マネジメントとして探求すべき範囲が極めて広く皆様の関心が非常に高いことが感じられました。

特別講演では、名古屋大学医学部附属病院放射線部准教授・日本医療コンシェルジュ研究所理事の深津博先生をお迎えし、「医療コンシェルジュの活用による地域医療連携の改善効果について」と題して、医療コンシェルジュの活用による病院サービスの再構築と導入効果について大変有意義な講演を頂きました。

本支部学術集会を盛会のうちに終了することができましたことは、ひとよに関係者の皆様方のお力添えの賜と関係者一同より感謝を申し上げ、開催報告とさせていただきます。(文責：公立松任石川中央病院管理局総務課主査 西 康雄)

第9回茨城県支部学術集会

学術集会会長：財団法人筑波メディカルセンター

筑波メディカルセンター病院院長 石川昭雄



会場風景

第9回日本医療マネジメント学会茨城県支部学術集会は、2008年11月15日(土)、つくば国際会議場で開催され、470名の参加がありました。

「医療の地域連携：治し・支える医療の推進に向けて」

をメインテーマに掲げ国際医療福祉大学三田病院副院長 武藤正樹先生に「医療連携～新たな地域医療計画と地域連携クリティカルパス～」というテーマで特別講演を頂き、医療を実践している医療関係者に多くの知識を植え付けて頂きました。また、一般演題は、地域連携、看護、安全・感染、患者支援・看護支援の47演題、クリティカルパス展示55症例の他に、「地域における医療連携の構築と今後の課題」「その人に合わせた経路栄養剤の選択」「電子カルテの明るい未来について」と題した3つのパネルディスカッションを開催し活発な意見交換が行われました。今回の開催にあたりご協力いただいた方々に感謝を申し上げ、開催の報告とさせていただきます。(文責：筑波メディカルセンター事務局総務部庶務課課長 窪田蔵人)

第8回東北連合会・第1回福島県支部学術集会

東北連合会会長：国立病院機構仙台医療センター名誉院長 櫻井芳明

2008年11月29日(土)、第8回東北連合会が開催されました。

福島県はこれまで会員数が少なく支部も充分機能しておりませんでしたが、今回の学会開催を機に、会長 菊地巨一先生(福島県立医科大学学長)、代表世話人 寺西寧先生(総合南東北病院院長)が中心となり、福島県支部の立ち上げとほぼ同時進行で準備が進められました。

郡山市の(財)脳神経疾患研究所附属総合南東北病院にて、①地域医療連携のこれからを考える、②地域医療の再生は可能か?の2つをメインテーマに参加者約200名が